

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	文京区湯島4-1-12
園名	ミアヘルサ保育園ひびき湯島

1. 活動のテーマ

<テーマ>

科学（シャボン玉）

<テーマの設定理由>

園庭がない分、公園に行って遊ぶことが多い。先日の活動でシャボン玉遊びを取り入れた所、色や大きさの違いに興味を持っているようだった。様々な身近なものを使って起こる変化について等を遊びの中で取り入れ、子どもたちの好奇心や興味をさらに深めていくため。

2. 活動スケジュール

～7月 戸外遊びでのシャボン玉遊び
7～9月 水遊びでの泡遊び
8月 シャボン玉ショー実施
9月～ 室内や戸外でシャボン玉遊ショーで見た遊びを展開

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・シャボン玉ショーの開催
- ・室内やテラスで存分にシャボン玉ができるようシャボン玉セットを用意
- ・モール、ストローなどシャボン玉になりそうな物

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・室内や戸外でシャボン玉コーナーを設置
- ・色付きのシャボン玉製作
- ・シャボン玉ショーの観劇

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・大きなシャボン玉を作りたい思いからシャボン玉液の量や、穴の大きさ、息の速さについて「こうやったら大きくなった」「汚れたから洗って水がついたらシャボン玉が消えた」など毎回出るシャボン玉の大きさや色に興味を持っていた。保育者が気づきに共感すると大きなシャボン玉作り大会が友だち同士で開催されていた。
- ・シャボン玉ショーを実際に見て様々なシャボン玉を見ると「やってみたい!」と話しており、撮影した動画を何度も見て試していた。
- ・シャボン玉ショーで『冬の方がシャボン玉ができやすい』ということを知り、12月頃から「いつから試してみる?」とカレンダーを見ながら相談する姿があった。実際に戸外に出て行くと大きなシャボン玉ができやすく「本当だった!」「すごいよ」と出来上がったシャボン玉を追いかけて楽しんでいた。

活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付してください。

(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・「やってみたい」が多い子どもたちだったこともあり、シャボン玉ショーを見せるのはとても良い刺激となったのではないかな。
- ・室内の自由遊びにシャボン玉コーナーを入れたことで、廃材遊びが好きな子どもたちにとって遊びが展開しやすかったと考える。子どもの興味から環境を整えていく柔軟性が大切だと感じた。
- ・シャボン液があることで『自分でシャボン液を作る』という発想や遊びに発展させていくことが難しかった。誤飲に繋がる物なため安全面に準備をしていく際は配慮が必要になってくる。